

⑫ 実用新案公報 (Y 2)

昭61-38481

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

A 45 D 2/18  
2/46

識別記号

庁内整理番号

7613-3B  
7613-3B

⑭ 公告 昭和61年(1986)11月6日

(全3頁)

⑮ 考案の名称 髪巻き用ローラー

⑯ 実 願 昭55-171469

⑰ 公 開 昭57-94402

⑱ 出 願 昭55(1980)11月28日

⑲ 昭57(1982)6月10日

⑳ 考 案 者 林 良 和 名古屋市中央区栄2丁目4番地5号(小林ビル内ひつちや)方

㉑ 出 願 人 林 良 和 名古屋市中央区栄2丁目4番地5号(小林ビル内ひつちや)方

㉒ 代 理 人 弁理士 児玉 齊夫

審 査 官 佐 伯 義 文

1

2

㉓ 実用新案登録請求の範囲

面ファスナーの係着面が外側を向くように、平面部に面ファスナーの凸1又は凹2の一方を配設すると共に底面部に他方を配設し、これら平面部、底面部の左右の側面を伸縮性、通気性を有する細い目の網3等の網状物で連結して両端部にそれぞれ入口6、出口7を備えた筒状体を形成し、入口6に髪保持用クリップ5を取り付けたことを特徴とする髪巻き用ローラー。

考案の詳細な説明

この考案は、毛髪を巻くために面ファスナーを備えた筒状体を形成し、筒状体の入口にクリップを取り付けて、使用時に筒状体の内部に毛髪を入れて巻き、従来の毛髪を巻いたヘアローラーを止める他の固定体を不用にして、筒状体の面ファスナーが髪巻き用ローラーと該ローラーの固定体の役目をする髪巻き用ローラーに関するものである。

従来は毛髪をヘアローラーに巻くときに該ヘアローラーから毛髪の毛先が外れて巻きにくかつた。又、毛髪を巻き終つた際、他の固定体でヘアローラーを固定しなければ、ヘアローラーが巻付けた毛髪から外れた。

本考案はその欠点を除くために考案されたもので、これを図面とともに説明すれば、本例は、主として第1図に示すように、片面を夫々凸係着面、凹係着面とした凸1と凹2よりなる一対の面

ファスナーを用い、この面ファスナーの係着面が外側を向くように、平面部に面ファスナーの凸1又は凹2の一方、例えば凸1を配設すると共に、底面部に他方の凹2を配設し、これら凸1、凹2の面ファスナーの平面部、底面部の左右の側面を伸縮性、通気性を有する細い目の網3で連結して、これら一対の面ファスナー、網3で両端部に夫々入口6、出口7を備えた筒状体を形成し、該筒状体の入口6に髪挟持用クリップ5を取り付け、凸1、凹2の面ファスナーに夫々多数の通気穴4~4を透設している。

次に、このようにした本ローラーの髪巻き使用について説明する。

先づ第2図に示すように、平面部、底面部に配設してある凸1、凹2の面ファスナーを出口7側からそれぞれ、凸1、凹2の面ファスナーの内面(裏面)が外側に出るように入口6まで丸く巻き、次にクリップ5を開き、この開いたクリップ5を通して毛髪8を希望する長さだけ入口6から内部に引きこみ、次にクリップ5を閉じてクリップ5で毛髪8を挟持する。

次に、この出口7を入口6まで巻いた筒状体を、内部に毛髪8を入れた状態で毛髪8の毛先9の方向に巻き戻し、元の展張状態として毛髪8の毛先9側をこの展張状態の筒状体内に位置させる。

次に第3図に示すように、内部に入つた毛髪8

3

4

をはさむようにして面ファスナーの凸1又は凹2の一方の方向に出口7側から巻く。

この巻回により筒状体の平面部と底面部にある面ファスナーの凸1と凹2とが衝合して係着し、毛髪8を内部にはさんだ状態で、他の固定体を使用することなく、この巻回状態が保持される。

なお、本考案の実施態様として次の如きこともできる。

(i) 伸縮性、通気性のある筒状体に面ファスナーを横に間隔をあけて取り付けることによつて筒状体は縦の伸びがよくなる。

上記のように本考案の髪巻き用ローラーは、面ファスナーの係着面が外側を向くように、平面部に面ファスナーの凸1又は凹2の一方を配設すると共に底面部に他方を配設し、これら平面部、底面部の左右の側面を伸縮性、通気性を有する細い目の網3等の網状物で連結して両端部にそれぞれ

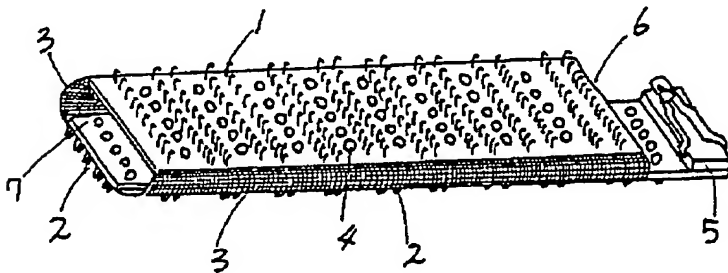
入口6、出口7を備えた筒状体を形成し、入口6に髪保持用クリップ5を取り付けたことを特徴としており、髪巻き使用時に毛髪を筒状体内に入れて筒状体を平面部又は底面部の何れか一方に出口側から巻いていけば、面ファスナーが髪巻きローラーの役目を果たすと共に、面ファスナーの凸と凹とが係着するので巻回状態を保持できて他の保持用固定体を要しない効果がある。

図面の簡単な説明

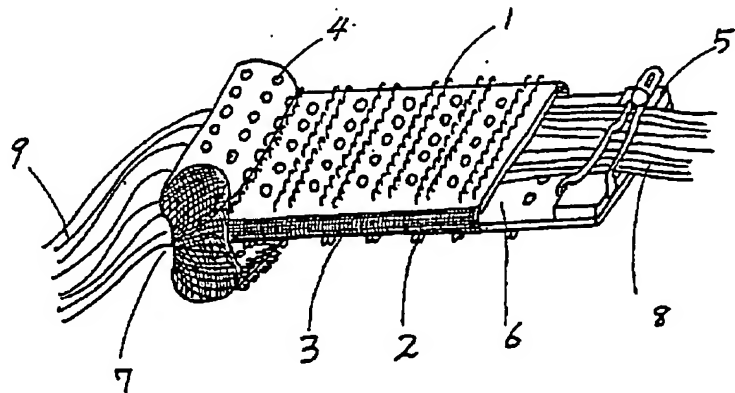
図面は本考案の実施例を示すもので、第1図は斜視図、第2図、第3図はそれぞれ使用状態における斜視図である。

1……面ファスナーの凸、2……面ファスナーの凹、3……網、4……通気穴、5……クリップ、6……入口、7……出口、8……毛髪、9……毛先。

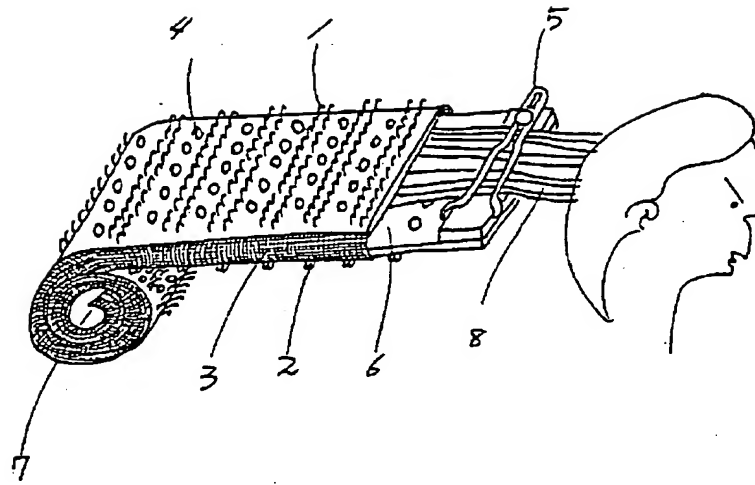
第1図



第2図



第3図



***This Page Blank (uspto)***